

# あいちの印刷

# 2

2010.2  
No.459



菜の花が咲く飯田市郊外

も  
く  
じ

巻頭言 “教育委員会”	
/ 教育委員長 岡田邦義 .....	3
平成22年新春印刷と関連業界新年互礼会 .....	4
潤いと彩りを与える印刷産業 .....	7
「INSATSU」への飛翔	
/ 感性価値創造の実践 .....	8
中小企業施策の	
「ワンストップ・サービス・デイ」相談実績 .....	10
身近な催し物のお知らせ .....	11
「光文堂新春機材展」 .....	12
全印工連MUDプロジェクト .....	13
全印工連環境委員会からの報告	
/ 事務局だより .....	14

## 巻頭言

# “教育委員会”

教育委員長 岡田 邦義

2008年秋のリーマンブラザーズの経営破たん  
に始まるこの未曾有の経済危機は思った以上に  
大きな打撃を与えています。

世界のトヨタとその関連企業でさえ残業規制  
や夜勤が無くなり、1兆円を超える利益から、  
赤字に転落しております。

更に、原材料費3割カットという下請け企業  
におきましては大変厳しい要求になっており、  
愛知県は他の都市よりも厳しい環境に陥ってい  
ます。

当業界におきましても、一昨年以来、印刷用  
紙をはじめとする諸資材の値上がりが続き、受  
注価格の低迷に加え、コスト上昇というダブルパ  
ンチが経営を苦しめる状況にあり、残念ながら  
今年度も大きな変化は見られそうにありません。

全印工連では、印刷業界自身の構造変化に起  
因する課題に対しては、これまで取り組んでき  
た「業態変革推進プラン」を更に浸透させ、個々  
の企業の実践に結びつけていくことを目標とす

る「ワンストップサービス」による収益拡大を  
基本戦略とした、具体的な提案と情報提供、他  
業種も含めた業態変革の実践事例及びマーケテ  
ィング手法の研究、共創ネットワーク環境づく  
りなど、組合員企業の経営革新に向けた支援策  
を強化しています。

当委員会ではこの状況を少しでも改善し乗り  
切る参考になるよう、またこんな時代だからこ  
そ多くの皆さんに考えていただけるよう、2月  
に技術者向け・営業者向けにそれぞれセミナー  
を開催いたします。

技術者セミナーでは印刷色の標準化を目的と  
した「Japan Color」について、また、営業者  
向けセミナーでは「生き残りの値引き競争脱却  
方法～己を売る“言霊マーケティング”～」に  
ついてのセミナーです。

そして、4月には印刷業をより知っていただ  
く為の新入社員研修会も開催いたします。

皆様、是非ご参加下さい！



紙をクリエイトする  
**Axuas**



**Axuas**は

自然にやさしい紙の流通を目指します。

再生紙・非木材紙、植林木使用紙、  
FSC商品およびECFパルプ製品など、  
常に環境を配慮した提案・提供を  
推進してまいります。

**株式会社 アクスアス**

代表取締役 大河内 健二

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目 25 番 35 号

紙営業部 TEL.(052)220-5511 IP電話 (050)3533-5511 FAX.(052)220-5522  
包材営業部 TEL.(052)220-5507 IP電話 (050)3533-5612 FAX.(052)220-5517  
管理本部 TEL.(052)220-5571 FAX.(052)220-5565

東京洋紙営業所 〒103-0021 中央区日本橋本石町 4-5-3 TEL.(03)3242-5561  
東京包材営業所 〒130-0021 墨田区緑 2-10-13 コーポ今井 403号 TEL.(03)5600-3070

Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail [info@axuas.jp](mailto:info@axuas.jp)

新年互礼会



平成22年新春  
印刷と関連業界新年互礼会

来賓、関連業者、組合員、総勢312名が参加  
「健康な印刷産業」の必要性を高井理事長強調

愛知県印刷工業組合（高井昭弘理事長）主催、愛知県印刷産業団体連  
絡会（同会長）協賛による、平成22年新春印刷と関連業界新年互礼会が、  
1月13日午後6時より、名古屋東急ホテルで開催されました。参加者は  
来賓、関連業者、組合員など総勢312名。なお、新年互礼会に先立ち、  
午後4時より、「『INSATSU』への飛翔 / 感性価値創造の実践」をテ  
ーマとするパネルディスカッションが開催されました。担当は組織・共  
済・労務委員会（猪飼重太郎委員長）。



新春印刷と関連業界新年互礼会のもよう  
と挨拶する高井理事長

新年互礼会の司会は鳥原久資副理事長が務めました。

木野瀬吉孝副理事長の開会の辞に続き、高井理事長が挨拶に立ち、参加者、そしてパネルディスカッションに参加したパネリストに「新年にふさわしいお話だったと思います」と感謝の意を表した後、次のように述べました。

「私は今年も、理事長就任当時から言い続けている『健康な印刷産業』、これを皆さんと一緒に  
なつくり上げて行きたい。そのために最低、売上対経常利益率5%、を目標にして利益計画をつくら  
せていただき、5%を目指して努力していただきたい。また、今年も各委員長さんをお願いして、  
いろいろなセミナー、勉強会を開催して行きますので、たくさんの方に参加していただきた  
いと思

す」

一方で高井理事長は、5%の実現は無理だと感じている組合員が多いことを認めながらも、「やる気」の重要性を指摘し、「とにかく迷わず前へ進むこと、『5%上げるんだ』という気持ちを持つことが大切で



司会を務めた鳥原副理事長



開会挨拶する木野瀬副理事長

来賓の方々



加藤淳 中部経済産業局総務企画部参事官



岩田勇二 愛知県産業労働部技監



岸上幹央 名古屋市市民経済局産業部長

す。ぜひ努力していただきたいと思います」と要請しました。

また、高井理事長は民間信用調査会社が実施した長寿企業アンケート（約400社）の結果を紹介し、約8割の企業が経営理念・指針、社是、社訓などをもち、社員と共通の価値観を共有していること、更には約7割の企業が創業時の事業から主力事業や商品、サービスの内容などを変えていることを報告。その上で全印工連（全日本印刷工業組合連合会）が推進している業態変革にふれ、「業態変革という言葉をししばしば耳にされるとは思いますが、どうか真剣に取り組んでいただくよう、お願いしているところです」と述べ、業態変革の重要性と実践の必要性を強調しました。

最後に高井理事長は、価格破壊の元凶ともいえる、量のみを追う営業、経営姿勢を強く否定し、「正しい経営、正しい取引をしていただきたい」と要請。そして、「今年は幸せな事業継続、幸せな廃業を含めて勉強会を開催して行きます」と組合事業の重点項目を説明し、「今年をチャンスの年にしましょう。確かな先見性、不動の信念、果敢な決断

力、これらを発揮すると素晴らしい一年になると申し上げ、新年の挨拶とします」と結びました。

引き続き、来賓を代表して次の三氏が祝辞を述べました（以下に要旨を示します）。

中部経済産業局総務企画部参事官・加藤淳氏  
「印刷業界の皆様方におかれましては、顧客企業のイメージの向上、更には消費者のニーズの向上に対応した、デザイン、パッケージ、チラシ等を積極的に提案し、付加価値の高いサービス展開を進めることが求められていると思います。『感性価値創造の実践』をテーマとしたパネルディスカッションが開催されたことがそのことを象徴しています。そして、業態変革実践プラン、収益拡大につながる、いろいろな活動に積極的に取り組んでいらっしゃるのも、高井理事長はじめ、組合員の皆様のご尽力のたまものであり、敬意を表する次第です」

愛知県産業労働部技監・岩田勇二氏  
「愛印工様のホームページを拝見しました。組合の機関誌『あいちの印刷』。その12月号を拝見しました。12月号のトップ記事は『業態変革・ワンストップサービス実践ガイドブックVer.2』の発行でした。

# OLIVER496SD

菊全判4色 印刷機

## 大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン  
最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai

株式会社 桜井グラフィックシステムズ  
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社  
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9  
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所  
〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所  
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31  
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所  
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8  
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場  
〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146





全印工連水上会長の発声で乾杯し祝宴に



閉会の挨拶をする細井副理事長

そしてページをめくってみると、1月27日に業態変革の実践セミナーを開催されると『催し物のお知らせ』にありました。高井理事長様を先頭に組合員の皆様、非常に熱心に勉強を行っているということで、私も心強く思っていますし、今後の業界の発展の一助になるものと思っています」

名古屋市市民経済局産業部長・岸上幹央氏

「印刷関連業界におかれましては、印刷用紙など資材の高騰、あるいはデジタル化の進展などが、今後、対応すべき課題であろうかと思いますが、ニーズに的確に対応され、かつ組合員の皆様が連携を深め、高井理事長様がおっしゃられた『健康な印刷産業』になり、この景気の荒波を乗り越えていただきたいと願っています」

この後、全印工連の水上光啓会長の発声で乾杯し祝宴に入りました。

水上会長は発声の前に、「全印工連の会長として皆さんに正しい情報を流したいという思いがあります」と前置きして、経済・社会情勢、印刷業界の動向、あり方について述べました（別項参照）。

来賓、関連業者、組合員が歓談、談笑した祝宴は細井俊男副理事長の中締めでお開きとなりました。

#### パネルディスカッション

「『INSATSU』への飛翔/感性価値創造の実践」をテーマに開催されたパネルディスカッションは、全印工連の組織の1つである全国青年印刷人協議会（白田真人議長/以下・全青協）が、「感性価値創造」と「業態変革の実践」を2本柱として事業展開していることから企画されたもの。司会は猪飼委員

長が務め、パネリストは全青協の次の3氏。

白田真人議長/岸昌洋副議長/江森克治副議長

パネルディスカッションは、全青協が昨年7月に刊行した冊子「『INSATSU』への飛翔/感性価値創造の実践」をもとに進められました。

パネルディスカッションでは、世界の秩序が変化し、先進国の「安い、早い、大量、正確」という価値観が限界にきていることが指摘され、これまでの「理性主義のビジネスモデル」（数値化と標準/合理化/理性価値）から「感性主義のビジネスモデル」（数値化不可能/好き嫌い/感性価値）への転換、融合の必要性が強調されました。

また、全青協では1昨年にパリ、昨年にニューヨークで開催された感性価値創造フェアに出展したことを踏まえ、「世界に打って出るチャンスがある」と認識していること、全印工連の印刷産業戦略デザイン室が中心になり、中小印刷業の海外進出の可能性について検討していることなどが報告されました。



新年互礼会に先立って行われたパネルディスカッション（詳細については8ページ参照）



#### ●新年互礼会での挨拶より

## 潤いと彩りを与える印刷産業

水上 光啓 全日本印刷工業組合連合会会長

想像を絶するような社会の変化がきました。資源、環境、ネットワーク、少子高齢化の問題等々。世の中が大きなパラダイムシフトの中にあります。

その中で印刷業だけが、蚊帳の外にはいきません。従来型の受身の営業では、我々のビジネスは間違いなく衰退して行くと思います。

更に印刷産業は、いま、大きな二つ目の波を受けているような気がしてなりません。

一つ目の波はデジタルです。最初はフレッシュに使えと思ったのですが、労働力の付加価値を失ってしまったような気がしてなりません。いま、更に印刷そのものの付加価値を失う可能性があります。印刷産業全員で、印刷の付加価値、その高さを訴えて行かなければならないと思います。それが感性価値だというふうに思います。

従来の実用価値、高い、安い、速い...それはネットと比べると、かなわない部分が多いですね。しかし、感性価値というのは印刷にしかありません。ぜひ生かしてください。

そして、ワンストップサービスをぜひ実践してください。残念ながら、従来と同じ印刷をやっていると、印刷は尻すばみになります。印刷というのは大変な長い工程があるのです。自社の印刷の見える側から、一歩づつ工程を増やして行くこと...これがワンストップサービスではないでしょうか。アメリカでは1ドルの印刷の回りに6ドルから8ドルの付帯サービスがあるといわれています。ぜひワンストップサービスをやり続けていただきたい。

そして、サービスにこだわっていただきたい。印刷はもちろん製造業です。しかし、世の中全体がサービス化の中で、製造業だけではなかなか難しいと思います。サービス業というのは、人の面倒くさいことをやります。お客さんが大変なことを、それを一つ一つ我々がお手伝いする。それがサービス化ではないでしょうか。

私は常々組合員の皆さんにやるべきことを三つ申し上げます。

一つ目は社会が大変革する中で、美空ひばりのように業態変革しなさい、ということです。美空ひば

りは時代の流れの中で絶えず、時代に合った歌とともに変革を重ねてきました。だから、業態変革を美空ひばりのようにやっていただきたいのです。

そして二番目。大変世界の方向は分かりにくい。しかし、皆、分からないのです。ですから一緒に勉強しましょう。

そして、それぞれの方向を明確に定めて、内部を固めてください。内部を固めれば、会社は崩壊することはありません。

そして三つ目。それは潰れない会社を作ることだと思います。どういうことか？まず無駄な費用の削減です。私たちの会社には無駄な費用があると思います。今年1年、徹底して第一に無駄な費用を削減していただきたい。

そのようなすべてが業態変革の中に集約化されています。6年間、全印工連では業態変革を訴え続けてきました。その最後である実践プラン。昨年の秋に刊行した「業態変革・ワンストップサービス実践ガイドブックVer.2」には、35の実例が掲載してあります。ぜひお読みください。なんらかのヒントがあるはずですよ。

最後になりますが、印刷の将来はどうなるのでしょうか。私はキーワードがいくつかあると思います。

まず、ネットの出現と更なる増大。それから情報が洪水のように流れています。この10年で情報量は500倍近くになったといわれています。ほとんどの情報が一緒に流されています。私たちはきちんと情報を整理しなければなりません。

そして成熟化社会。その中でたくさんのメディアが出てきました。しかし、あらためて情報産業の中で、印刷メディアを考えてください。印刷以外のメディアの多くは、画面を通じて見る、聞くという、二つの機能しかありません。印刷メディアは五感を形にできる唯一のメディアです。そして五感を感知することができるメディアなのです。ますますネットが進んで、味気ない社会になる中で、潤いと彩りを与えるのが印刷産業です。

ぜひ、今年1年、自信をもって前に進もうではありませんか。



**感性価値と理性価値**  
感性の働きから、お話ししたいと思います。  
商品やサービスを我々が選ぶ時、何を基準にして選ぶでしょうか。値段、機能、耐久性、または物によっては、「欲しい」、「欲しくない」とか好き嫌いで選ぶ物もあります。テキスト「『INSATSU』への飛翔／感性価値創造の実践」の冒頭に「つけ麺」の話が出てきます。つけ麺がいま、非常に流行っていて、東京ではつけ麺を置いていないラーメン屋さんはないほどです。一方、値段、機能性だけで選ばれる物もあります。例えば、トイレットペーパーなどがそうです。少々品質に違いはあれ、同じような物であれば安い方がよい。商品やサービスを買う場合に、合理的に判断して「これは安いから良い」というケースと、「高価だけれどどうしても欲しい」というケースの二通りがあります。前者の合理的に判断するのは、理性の働きによるものです。一方、好き嫌いとか「欲しい」、「欲しくない」など、直感で判断するのは、感性の働きによるものです。  
我々のつくっている物、印刷物という商品は、好きとか嫌いとか、「欲しい」、「欲しくない」という基準で決めにくいわけです。ですから、値段、納期など、合理的な判断基準が占める部分というのが極めて大きいというか、ほとんどですね。

**既存の印刷物は減少傾向**  
統計によると、印刷の出荷額のピークは平成9年です。

そこから下降しています。印刷情報紙の出荷額、ほぼイコール市場に出回っている印刷物の量だと言っても良いと思うのですが、ほぼ横ばい、近年は右肩上がりです。市場に出回っている印刷物は増えているのですが、印刷の出荷額は減少しているのです。この原因は単価が下がっているからです。

去年、PIA（アメリカ印刷工業会）に行き、2020年までの長期の印刷産業の戦略というプレゼンテーションを受けました。その時に彼らが言っていたのは、「従来型の印刷、紙にインキを乗せる印刷は、2008年比で2020年には出荷額が2008年の73%になっているのではないか」ということです。要は徐々に既存の印刷は減少するということです。

仮に日本の市場が同じような動きをするとしましょう。いま、日本の印刷会社が4色機を設備していて、1日8時間稼働していたとしましょう。2020年にはほとんど合理化が進みますから、平均的に8色機を設備していて、24時間稼働していたとしましょう。それでマーケットのサイズが73%に減少します。そうすると、例えばいま、2万事業所くらい存在すると言われていますが、その2万事業所がどのくらいの事業所数になってしまうかというと、生産性が4色機から8色機ですから2倍、稼働時間が8時間から24時間ですから3倍で、2倍×3倍で6倍になります。それでマーケットサイズが73%に減少すると、2万事業所がなんと2430事業所になるということ

になります。ほぼ10分の1です。  
今後は「ソフトパワー」の時代  
昨年、中国が自動車の生産台数、販売台数でも世界一になったようです。「先進国はグローバル市場では新興国に勝てない」と昔から言われていましたが、いよいよそれが決定的になったのではないのでしょうか。そういう意味で2010年は非常に大きな意味を持つ年になると思っています。

いままでも先進国は製造業中心の仕組みをつくっていません。それが通用しないと、何か新しいことをしなければなりません。新しいことをするという事は、何らかの秩序が変わるということです。経済の秩序も変わってくるでしょう。

「早く、大量に、正確に」という合理化競争は限界にきています。そうすると感性の世界（ソフトパワー）で競争するしかありません。これは経済産業省が言っていることです。ソフトパワーを活用した産業をつくって行かないと国際競争で新興国に抜かれて行ってしまう。そういう危機感が日本の中核にもあるのです。

「早く、大量に、正確に」...つまり、合理的、効率的、理性主義的にやってきたものから、嗜好、好き嫌い、思いなどの感性要素を重視して行かなければならないということです。それを経営戦略に取り入れて行かなければいけない。感性主義的な経営なり、感性主義的な産業をつくって行かないといけない。要するに、これからの時代、いままでもガラッと変えて行かなければいけないということです。

**「小さな欠落」の発見の重要性**  
経営学者のP.F.ドラッカーはイノベーションについて、次のように言っています。

「イノベーションとは既存の知識、製品、顧客のニーズ、市場など、すでに存在するものを、はるかに生産的な一つの全体に発展させるために、小さな欠落を発見し、その提供に成功することである」

ここで注目すべきことは、「すでに存在するもの」を更に発展させるために「小さな欠落を発見し」という部分です。

いま、我々が提供している商品やサービスにも小さな欠落があります。しかし、我々は気付いていない。いままでも印刷は、1,000部も2,000部も同じ値段でした。お客様は納得できなかったと思います。「なぜ、1,000部も2,000

部も一緒の値段なんだ」と思っていたはずですが、それが違う、100部と200部でも違うというふうにして、納得感を出して行くのが、例えばPOD（プリントオンデマンド）だとすれば、お客様が持っていた小さな欠落を埋める一つの有効な手段なのではないかと思えます。

**感性価値を具現化した「iPod」**  
印刷から離れ、感性価値の具体例として、デジタルオーディオプレイヤーの「iPod（アイポッド）」を取り上げてみたいと思います。

アイポッドは、日本国内のデジタルオーディオプレイヤーで50%のシェアを持っているそうです。アイポッドの面白さ、操作をしていてもそうですし、デザインもそうですし、持っていること自体が楽しいですし、使っているのももちろん楽しい。そういう何とも言えない感覚、誰かが使っていると、見ると、欲しくなってくる、というような不思議な魅力があります。アイポッドというのは、おそらくデジタルオーディオプレイヤーという枠組みの中で、たまたま、統計上50%のシェアとなっていますが、数値以前のキーポイントとして、アイポッドというマーケットがあるのだと思うのです。アイポッドのマーケットの中でアイポッドは当然、100%のシェアを持っているわけです。その中にはライバルはいませんから、アップル社は儲かって当たり前なのです。ちなみに、アップル社が2009年の第一四半期で過去最高益を出したというニュースがありました。

それ（アイポッド）が感性価値の具現化された、成功している非常に良い例ではないかと思っています。

**中小印刷業の海外進出の可能性**  
全青協では、経済産業省、全印工連の支援を受け、1昨年12月にパリ、昨年5月にニューヨークで開催された感性価値創造フェアに出席し、6点のオリジナル作品を出品しました。日本の印刷産業が作り出す印刷物にどれほどの価値があるのか。また、世界の、特にフランスという非常に美意識が高い国民の方々に、またニューヨークという世界経済の中心地で、我々の作品がどこまで通用するのか、どのような反響があるのかを知るために世界に打って出る。そのような思いがありました。

そこ（感性価値創造フェア）で我々は、非常に大きな無形な資産を手に入れました。それは「これ行けるぞ!」ということです。パリやニューヨークへは、中小企業1社では出て行くことは困難です。でもいま、本気で研究

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社  
**メイカミ**  
meikami  
名古屋紙商事株式会社  
社長 長谷川 志  
名古屋市長区主税町4-83 〒461-0018  
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418  
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場  
TEL 0568 28-2049

株式会社 **イノウエ**  
**Inoue**

〒462-0854 名古屋市北区若葉通4-18-1  
TEL 052 / 811-8211 FAX 052 / 811-3011  
H.P. http://www.k-inoue.co.jp  
E-mail : net@k-inoue.co.jp

お役に立てる印刷機材の総合商社

創業1889年の盛功社は2009年120周年を迎えます。  
3世紀にわたるご愛顧をはげみとして新たな未来へー

●印刷機材 ●製版機材 ●製本機材  
●DTP関連機 ●その他印刷諸材料

盛功社は120年  
**株式会社 盛功社**  
〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地  
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

同業者のための印刷工場

◎厚紙パッケージ類全4色印刷始めました  
-0.04mmの厚紙から0.8mmまでの厚紙まで-  
◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です  
◎完全シルバーマスターでの印刷もできます  
印刷から製本・発送まで自社一貫体制

**大日印刷株式会社**  
☎0564-62-8461(代) ☎  
●田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ場48-1 FAX(0564)62-8463  
http://www.sk2.aitai.ne.jp/~dainichi/ E-mail:mail@sk-dainichi.com



しています。中小企業が世界に打って出る手を。

チャンスはあります。我々が今までやってきた技術、我々が今までお客様に要求されたこと、我々が普段、当たり前のようにやっていること、ここに価値を見出してくれる人が海外にいることを、この手で、この体全身で感じてきました。

どこにマーケットがあるのか、どういった形で打って出るのか、感性をどのように日本の印刷産業が形にし、どのように世界に打って出るべきなのか。それをいま、全印工連の中にある印刷産業戦略デザイン室で、島村（博之）委員長を筆頭に、市場創出の一つの手法として研究しています。

#### 感性価値創造企業の共通点

経済産業省が感性価値を持っている企業を調べたところ、つぎの4つの共通点があったとのことです。

- トップが重要性を理解
- 企業の価値観・文化・風土を確立
- 全社で縦横に価値観を共有
- クリエイティブな現場力

そして中小企業単独で取り組むのは大変だとこの観点から、次の3つを重要事項として挙げています。

外部のデザイナー、コンサルタントなどとコラボレーションを積極的に行う

生活者とのインターフェイスを持つこと（生活者に「実際はどうなのだ？」ということを知りたい、いつもそういう意見が吸い上げられるような仕組みを持っていること）

売り方。安売りをしないこと（見せ方などに注意し、商品、サービスの価値を伝える）

そして、作り手が、どういう思いを持ってつくったか、どのように開発したかなどが、しっかりと使い手に伝わり共感を呼ぶと指摘しています。その共感が価値を生んで行くということです。

印刷にも川上から川下までいろいろなものがあります。素材でいえば紙とか、加工技術など...そういった個々のいろいろな価値がつながって行って、全体の価値を生んで行くような流れにして行くことが大事だということです。

「ワンストップサービス」と「業態変革」

我々は感性価値を、まったく新たな取り組みとは捉え

ていません。いわゆる川上から川下まで、我々がそもそも持っていた印刷技術、更にアーティスト性だったり、クリエイティブ性だったり、もっと言うならば、和紙とか墨とか、日本古来の素材であるとか、もっと言うならば、地域の歴史や文化だとか、そういった川上から、そして加工技術、川下までバリューチェーンをつくって行く、生み出して行く、これを感性価値と言うのです。

これ皆さんどこかで聞いたことありませんか。川上から川下まで。そうです、いま、全印工連が、業態変革推進企画室の皆さんが発している「ワンストップサービスで収益拡大」、まさにこれです。その一つの手法にこの感性価値創造があるのではないのでしょうか。

我々はいままでの印刷業、いわゆる刷っていくから、前後へ事業領域を延ばすことによって、トータルでお客様の役に立つ、もっと言うならば、お客様から、「君のところに頼むよ」と言われるような価値を、それぞれの企業がつくって行くことが必要です。これが業態変革の実践です。

注) 以上の文章は3氏の発言を要約したものである

企業雇用安定助成金の概要など。

「農商工連携・地域資源・新連載、販路開拓」：海外の物産展出展に係る補償制度、Webを活用した販路展開、異業種連携による新事業開拓のための組織づくりなど。

「下請け取引」：大手メーカーが一方向的に営業エリアを縮小したが、どうしたらいいか、取引先予定の会社から受注がもらえない、受注先を斡旋して欲しい、下請け代金の支払遅延など。

「雇用・人材」：受注増加に伴う雇用について、雇用保険、中小子育て支援助成金、育児休業取得促進など助成金について、海外研修生の受け入れ組合の設立など。

「事業承継」：従業員や子息への事業承継、経営承継円滑化法の申請など。

その他、技術開発における、ものづくり補助金、戦略的基盤技術高度化支援事業の申請、技術開発に係る適切な相手方（機関など）の紹介、中小企業施策（共催制度）について、法律・税務相談。

#### 身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考
2月20日(土) 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:30	<b>事業・行事</b> 教育セミナー 「なぜ、今、Japan colorなのか」 講師:長沼 勉氏 (社)日本印刷産業機械工業会事務局長 参加費:愛印工組組合員・一般 1,000円 「生き残りの値引き競争脱却方とは? ~ 己を売る言霊マーケティング ~」 講師:中野 貴史氏 (ソウルプロダクツ代表) 参加費:愛印工組組合員2,000円 一般4,000円
2月24日(水) 13:30 ~ 17:00	<b>事業・行事</b> 経営革新セミナー「真剣に考えよう! “幸せな事業継続”」 講師:久保田博三氏 K・ビジネスソリューション代表 環境セミナー「これだけは知っておきたい!経営者のための環境セミナー」 講師:寺田勝昭氏 P&Eマネジメント代表 2セミナーを1セットとして開催します。
3月6日(土)	<b>事業・行事</b> 企業見学会 <b>見学先</b> 北東工業(株)本社及び東大阪工場 参加費 3,000円(組合員) 定員30名 申込締切 2月22日(月) 厳守 詳細は事務局へ
4月3日(土) 9:30 ~ 16:30	<b>事業・行事</b> 教育セミナー「印刷会社の新入社員研修会」入社3か月未満の従業員対象 <b>愛知県印刷会館</b> 3階会議室 <b>講師</b> 岩野 行雄氏 JAGAT専任講師 参加費:3,000円(組合員)定員20名 申込締切:2月25日(土) 厳守 詳細は事務局へ

#### 身近な催し物のお知らせ（関係団体）

開催日時	事業・行事、場所、備考
2月19日(金) ~ 20日(土)	<b>事業・行事</b> 中部地区印刷協議会 「平成21年度下期会議」 <b>ところ</b> キャッスルプラザ 詳細は調整中
2月20日(土) 13:00 ~ 16:50	<b>事業・行事</b> (社)日本印刷学会中部支部 平成22年度冬季印刷技術セミナー 「次世代印刷機の登場、その革新性と生産性」 <b>ところ</b> ウィンクあいち 11階 1101会議室 講師:富士フィルム(株) 河合英昭氏 三菱重工(株) 藤本信一氏 会費:7,000円(3名以上参加の企業は1人6,000円)

中小企業施策の「ワンストップ・サービス・ディ」相談実績

### 中小企業の相談件数 「資金繰り」がトップ

経済産業省、中小企業庁、中小企業基盤整備機構などは、昨年12月14日から同月29日にかけて中小企業支援施策「ワンストップ・サービス・ディ」を実施し、47都道府県の62都市で合計96回開催した。

この相談は、利用者が一つの窓口で資金繰りや雇用調整助成金などの相談ができるよう配慮したもので、その実績概要が公表された（合計相談件数は、1,802件、相談者数は1,221名）。

主な相談内容は、金融896件（49.7%）、経営全般250件（13.9%）、知的財産185件（10.3%）、雇用調整助成金116件（6.4%）、農商工連携・地域資源・新連載、販路開拓104件（5.8%）、下請け取引48件（2.7%）、雇用・人材40件（2.2%）など。

具体的な相談内容は以下の通り。

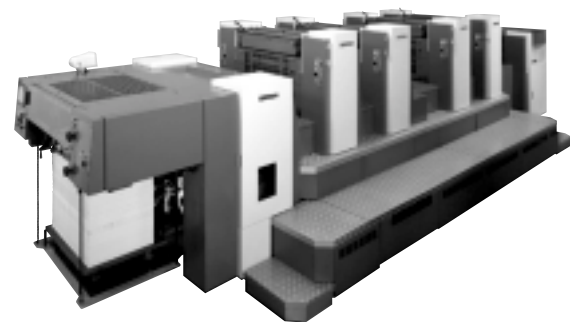
「資金繰り」では、追加融資・返済猶予・条件変更、保証額の増額、県制度補償の紹介、他の金融機関に資金繰りを断られたなど。

「経営全般」では、受注減少による事業継続の可能性、海外展開や産学連携の手続き、経営革新計画の申請手続きなど、新製品の販売方法、新規事業の事業計画など。

「知的財産」:新商品の知的財産及び商標登録や実用化、海外企業とのライセンス契約や大学との共同契約方法、権利化後の対応（侵害品商品）審査請求期限の具体的な日程など。

「雇用調整助成金」:雇用調整助成金の受給要件、個人事業者に対する助成金の要件緩和に関する要望、中小

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



## SHINOHARA 75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所

本社 〒421-1222 静岡県静岡市葵区産女1022  
 TEL(054)276-2008 FAX(054)276-2010  
 名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147  
 TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

SHINOHARA  
1919

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、  
 先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に  
 “満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。  
 私たち東洋インキグループは、世界にひろがる  
 「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ製造株式会社

中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

www.toyoink.co.jp





■愛印工組後援

「光文堂新春機材展」  
大勢の見学者で賑わう

愛知県印刷工業組合が後援する「光文堂新春機材展」が1月22、23の両日、名古屋市中小企業センター（吹上ホール）において開催された。

初日の9時半より会場入り口でオープニングセレモニーが開かれ、光文堂各務芳樹会長の挨拶や高井昭弘愛印工理事長ら来賓祝辞の後、テープカットを行いオープン。機材展は、出展63社280小間の規模で開催され、各社より自慢の新鋭機を始め、関連機資材・ソフトなどが展示された。新春恒例の展示会だけに、初日から大勢の見学者が詰め掛け、お目当ての製品の見学と情報収集に余念がなかった。また、併催されたコラボレーション展も連日賑わいを見せた。

光文堂の発表によると、来場者数は2,210社、8,920名が訪れた。

展示会場ルポ

- ・小森コーポレーションからは菊半裁4色オフ機「LITHRONE S426」
- ・篠原商事からは菊四裁4色オフ機「SHINOHARA 52」
- ・リョービマジクスからはA全判4色オフ機「RYOBI 924-A LED-UV搭載」、A3判縦通し自動両面4色オフ

機「RYOBI 33200PCX」など、それぞれのデモにおいて、生産性、操作性、高付加価値など、印刷品質の追求と小回り性がアピールされた。特に、LED-UV搭載機には多くの注目が集まっていた。

・キングコーポレーションは、紙製品の紹介に合わせ、名刺・はがきなどの作成に威力を発揮する印刷システムを披露した。このシステムの中核をなすフルカラーレーザープリンター「XEROX C3540」に、同社独自のオリジナル商品、カール矯正装置「カールレスユニット2」を搭載、厚紙の反りを強制してスムーズな印刷を行っていた。

・イトーテックからは、断裁機の



安全性と作業性を徹底的に追求し、世界各国で愛用されているコンピュータカッター「ROBOCUT」から、eRC-100シリーズを出展し、その高い断裁精度を披露した。

・富士フィルムグラフィックシステムズは、オンデマンド印刷機、製版関連、ヘルスケア商品など、幅広い製品を出展し、FFGSならではの展開を見せた。高画質カラーオンデマンド「700 Digital Color Press」、ブルーファース「PrimoJet」、エコリーフ環境ラベルを取得したサーマルCTPプレート「XPシリーズ」、Webポータル&ハイブリッドワークフロー「XMF」、環境対応製品がアピールされた。

・コニカミノルタグラフィックイメージングは、環境適性と実用性を両立したケミカルレスCTPプレート「BLUE EARTH」システムとハイクオリティカラーレーザープリンター「Pagemaster Pro6500N」を披露。

・モリスワからは、ユニバーサルデザインに対応し、誰にでも優しいユニバーサルデザイン書体を搭載した「MORISAWA PASSPORT」を紹介。

・東洋インキ製造は、色覚ユニバーサルデザイン対応のユニバーサル



デザインツール「COLOR FINDERシリーズ」をアピール。

・DICグラフィックスは、LED-UVインキ専用の「ダイキュア アビリオ LEDシリーズ」を公開。

・主催した光文堂からは、KBD製品の最新製品を始め、既存のKBD製品が多数紹介された。中でも注目されたのが、シール・ラベル業界に向けた新製品である。製品には、全自動検査装置「KBDチェックマスターSL」、インライン検査装置「KBDプロセスコントロールシステム」、LED-UVを搭載したコールドフォイル印刷機「KBDフォイルトーンSL」、版貼機「KBD版ピタ」、小型印刷機専用インキカラーコントロールシステム「KBDマイクロカラーSL」など。

会場ではひととき目を引いたのが、新しい電子看板「KBDデジタルサイネージソリューション」である。デジタルサイネージとは、野外や交通機関、店頭、公共施設などの場所で、ネットワークに接続したディスプレイ端末を使って情報を発信するオンデマンドの要素をもった情報発信システム。電子ポスターとか電子看板と言われている。

光文堂では、「クライアントの求める効果的なワンストップサービスを実現し、ビジネス領域の拡大に強力な武器となる」とアピール。

高機能デジタルブックソリューション「KBD LiueBook Master」、大学受験用の問題テキスト作りに役立つ「数式マイスター」、自動ドクター洗浄システム「KBDドクタークリーナー」などの新製品も登場した。

■全印工連MUDプロジェクト

第3回MUDコンペの入選作品を決定

グランプリに(株)日進堂印刷所

全日本印刷工業組合連合会・MUD推進プロジェクト主催の「第3回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」の審査が行われ、応募173点から入選作品が発表された。

今回の募集では、一般部門から133作品、学生部門から40作品、合計173作品が寄せられた。入選作品は、一般の部から最優秀賞（グランプリ）1点、優秀賞（準グランプリ）4点、佳作9点の合計14点。学生の部では、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点の合計8点となった。

審査基準は、メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）の観点から見やすさにおいて優れている、斬新な発想とアイデアにより独自の新規制や工夫・技法が考案されている、色彩構成だけでなく企画・デザイン・素材などの組み合わせによりMUDへの配慮がなされている、それぞれのメディア（部門）において実用的かつ機能的であること、の4項目。

入選作品は、2月3日から5日まで東京・池袋のサンシャイシティインコンベンションセンターTOKYOで行われる「PAGE2010」会場で表彰と作品展示がされた。

【入選作品】敬称略



日進堂印刷所制作パンフレット

- 最優秀賞（グランプリ）**  
一般/日進堂印刷所・佐久間信行「こおりやまユニバーサルデザイン」パンフレット（福島県）  
学生/岡山県立大学・高橋宏明「子ども向けワークショップチラシのデザイン」（山口県）
- 優秀賞（準グランプリ）**  
一般/佛武楊堂・三村慎治「さいわいガイドマップ」（東京都）、  
佛長英・益永貴広「防災パンフレット」（東京都）、  
佛明昌堂新潟支社デザイン課「MUDゴミ分別カレンダー」（新潟）、  
カラーユニバーサルデザインエキスポ・子粥将直「椎津川・村田川 洪水ハザードマップ」（千葉県）  
学生/岡山県立大学・高橋愛「Happy Schedule」（岡山）、  
山口芸術短期大学・瀧田亜矢「MUD植物図鑑やまぐちオリジナルユリ〜プチシリーズ〜」（山口県）
- 審査員特別賞**  
山口芸術短期大学（山口県）

KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

コニカミノルタに全てお任せください。

自校正フルラインアップ!

Digital Konsensus Premium Ultimate Edition

Falbard AQUA 新発売

Pagemaster Pro 5500N

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社 中部営業部：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F TEL.052-231-6277(代)

多様化するニーズに応じて

オフ輪プロセスインキ New **ADIAN PREMIER** ニューアドバンプレミア

100%植物油型乾燥インキ ナチュラル100

乾燥プロセスインキ **Fusion G** フュージョンG

新世代エッチ液 **Presarto** プレサート

カルトン用UVインキ **ABILIO** アビリオ

NEW 給水ローラーパッケージ **DIC水棒ECOパック** [DIC水棒洗浄剤ECO] + [DIC親水化処理剤ECO]

**DICグラフィックス株式会社**

■本社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル  
■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15

## 環境委員会からの報告

1月20日開催の日本印刷産業連合会・グリーン購入検討会で、以下の項目についての検討が行われましたので、報告いたします。

1) 日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準「用紙」の改定について

日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準では、用紙の水準1として、塗工紙12g/m<sup>2</sup>以下(片面では最大8g/m<sup>2</sup>以下)としているが、現在、水準1を達成する塗工紙(A2コート)が市場になく、グリーン購入法やエコマークなどの他の環境配慮基準における用紙の基準において塗工紙は30g/m<sup>2</sup>であることから、本年2月より、「購入資材・用紙」のグリーン基準を下記の通り改定する。

【現行】	【改定】
【グリーン原則】 塗工料を考慮している。 【グリーン基準】 <水準 - 1 > ・塗工量12g/m <sup>2</sup> 以下 (片面では最大8g/m <sup>2</sup> 以下) <水準 - 2 > ・塗工量30g/m <sup>2</sup> 以下 (片面では最大17g/m <sup>2</sup> 以下)	【グリーン原則】 塗工料を考慮している。 【グリーン基準】 ・塗工量30g/m <sup>2</sup> 以上 (片面では最大17g/m <sup>2</sup> 以下) 水準区分が なくなりました

2) GP認定工場の工程増設にともなう確認審査(現地審査)の実施について

本年2月より、GP認定工場が工程を増設した場合、工程増設3か月程度経過後、工程変更の届出により該当工程の確認審査(現地審査)が必要となる。GPマークのス

ター表示は、確認審査後、スター数が変更される。なお、GP認定後の工場移転の場合は更新審査が必要となる。

3) GP資機材認定精度の検討状況について

日印産連では、印刷機資材にGPマークを付与する「GP資機材認定制度」について、スリースター、ツースター、ワンスターを表示する基準となる環境配慮項目の評価・配点案を作成した。本制度は平成22年度から運用を予定している。

4) GPマーク表示印刷物の普及状況について

GP認定商品の普及に関する調査では、平成21年12月時点の累計で、調査対象137工場のうち73工場が3,434件の印刷物にGPマークを表示し、1億392万部の印刷物が全国に普及していることがわかった。GP認定製品はカタログ、パンフレット、チラシなど多岐にわたっている。

5) デジタル印刷グリーン自主基準の検討について

デジタル印刷工程を保有する工場がGP工場認定を取得する際のグリーン基準を策定するため、新たにデジタル印刷基準ワーキンググループを発足して検討を開始することとなった。

6) 日印産連「容器包装におけるPCR開設セミナー」開催について

日印産連では、昨年11月に認定されたカーボンフットプリント算定ルールである「出版・商業印刷物(中間財)」、PCR(Product Category Ruleの略:商品種別算定基準)に続き、紙製容器包装並びにプラスチック製容器包装のPCGを申請しているが、本年2月22日(月)に容器包装のカーボンフットプリント算定ルールを解説する「容器包装におけるPCR開設セミナー」(時間:14:00~16:00、場所:日本印刷会館)を開催する。

## 事務局だより

友人の結婚式があり飯田市に出掛けました。少し高台にある彼の実家の前には、見事な菜の花畑が広がり



春を感じさせていました。今年は暖かな日が多くて、例年より早く満開になったそうです。満開の菜の花を見ていたら気分的にも暖かさを感じた1日でした。新春恒例の新年互礼会も無事済ませることができました。大勢の皆さん方にご参加いただき感

謝申し上げます。テーブルを囲んでの形式は二度目になりますが、今回もいろいろなお意見を頂戴致しました。改善できるところは改善し、どなたでも気軽に参加できる新年互礼会にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## あいの印刷

No.459

平成22年2月10日発行

発行人 高井 昭弘  
編集 組織・共済・労務委員会

発行所 愛知県印刷工業組合  
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962-5771

FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)